



図書館サポーターズだより

明日に吹く風



夏休みが終わり、いよいよ後期が始まりました。まだまだ暑さが残りますが、涼しい図書館で読書を楽しみませんか？「読書の秋」ならではの図書館サポーターズおススメの本を紹介します。

～図書館サポーター推薦図書～

『風が強く吹いている』

三浦 しをん 著 (913.6 || Mi67)



過去の事件で走る場所を失った天才ランナーの走（カケル）は、風変わりな先輩・清瀬（ハイジ）に強引に誘われ、古びた寮「アオタケ」に入居する。しかしそこは、陸上未経験の漫画オタクやヘビースモーカー、司法試験合格者に留年生など、個性豊かすぎる訳あり大学生たちの巣窟だった。彼らの目標は、なんと「箱根駅伝」!。

怪我で一度は夢を諦めかけたハイジのもと、まともなトラックさえ持たない彼らが、泥臭く走り込み、不可能を可能に変えていく。無理だと言われながらも、ぶつかり合い、それぞれの限界を超えて一本のタスキを繋いでいく姿に、胸が熱くならないはずがありません！何かに全力で打ち込みたくなる、大学生活で絶対に読んでほしい小説です。

(M. K)

『夜のピクニック』

恩田 陸 著 (913.6 || O65)



恩田陸の代表作「夜のピクニック」は、全校生徒が夜を徹して80キロをひたすら歩く高校の伝統行事「歩行祭」を描いた、永遠の青春小説です。

主人公の貴子には誰にも言えない秘密があり、高校生活最後の「歩行祭」で、ある一つの賭けをします。ただ歩くだけの過酷な時間の中で、夜の闇は彼らの心を少しずつ解きほぐしていきます。友人たちと交わされる他愛のない会話や隠された本音、そして互いの距離の変化。恋や勉強、将来への不安など、読んでいるとまるで自分も高校時代に戻ったかのような青々しさやもどかしさが鮮やかに蘇ります。主人公、貴子はいったいどんな賭けをし、果たしてその結果はどうなったのか__。

皆さんもぜひ一度読んでみてください。(K. C)

『食の選び方大全』

あるとむ 著 (498.5 || A79)



スーパーで何気なく並んでいる食品には、同じような名前でも実はさまざまな違いがあります。『食の選び方大全』は、普段何気なく量や値段で選びがちな塩や醤油などの調味料、野菜や魚などの食材について、原材料や製法、表示のルールなどあまりじっくり見る機会が少ない部分の見方を分かりやすく解説してくれる一冊です。食品ごとの特徴や味の違い、表示の意味を知ることによって、それぞれの食品への理解が深まり、日々のお買い物や食事が楽しくなります。

食に詳しくない人でも読みやすく、身近な調味料や食材についての「知っているようで知らなかった」発見が数多くあります。食品に関する知識を深めたい人や、日々のお買物をより楽しみたい人におすすめの一冊です。

(W. K)